



びんぼうがみとふくのかみ

富安陽子作 飯野和好絵 小学館

はたらきものなのに、どういいうわけかとってもびん
ぼうなふうふ。はたらいてもはたらいても、お金^{かね}がた
まらない。それもそのはず。おいしいのおくに、びんぼ
うがみのじいさんがすみついていたんだ。ある年^{とし}のく
れ、じいさんがおんおんないていた。なんでも、こん
どこのいえに、ふくのかみがく
ることになったんだって。気^きのど
くにおもったふうふは、ついび
んぼうがみをひきとめちゃったよ。
やまがたちほう
山形地方につたわる、なんとも
ゆかいなむかしばなし。

